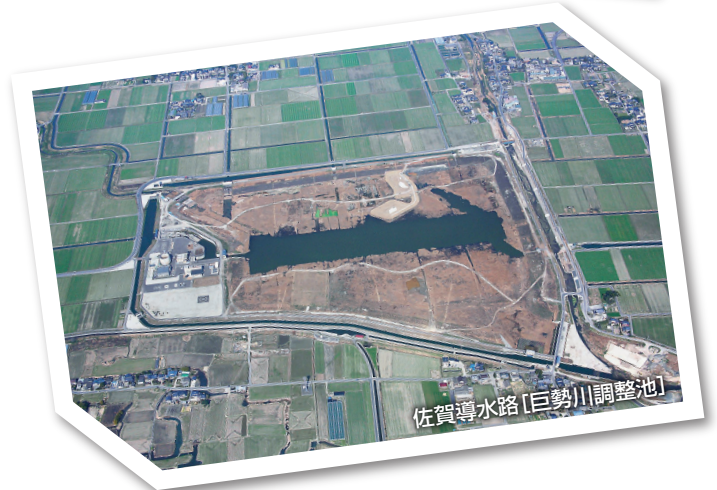


武雄

TAKEO THE PROJECT



嘉瀬川

歴史情緒あふれる自然豊かな嘉瀬川

1 流域の概要

その源を佐賀県佐賀市三瀬村脊振山系に発し、祇園川等の支流を合わせて佐賀平野を南流して有明海に注いでいます。

流域は佐賀県の県都佐賀市を含む3市にまたがり、古くから流域の社会、文化、経済の基盤をなし、治水・利水・環境上極めて重要な河川です。

水源地	佐賀県佐賀市三瀬村脊振山系
標高	912m
流域面積	368km ²
幹川流路延長	57km
国管理区間	33.4km
流域市町村	佐賀市・小城市・神埼市
流域内人口	124千人(H22国勢調査資料)

2 河川特性

嘉瀬川は、山地部に降った雨が一気に佐賀平野に流入し、災害をまき起こす暴れ川であったため、古くから治水、利水事業が行われており、その中でも成富兵庫茂安(1560-1634)が造った石井樋が有名です。また、河床が堤内地の平野より高い河川であるため、ひとたび堤防が破堤すれば、県都である佐賀市をはじめとする流域市町村は、大きな被害となる要素をもっています。

3 現状の課題

嘉瀬川の堤防は、所要の安全性が確保されていない弱小堤であり、洪水による堤防の不安定化が懸念されています。また、河道の流下断面積が小さく、大きな洪水を安全に流下させることができません。

この川の豊かな自然と広い高水敷は、多くの人たちに親しまれ、利用されており、河川整備の実施にあたっては、河川環境に対する多様なニーズに応える必要があります。

弱小堤防による危険性

堤防幅や高さ不足、また土質的に脆弱であり洪水時に危険です。



河道の流下断面積の不足

流下能力不足のため掘削や樹木の伐採が必要です。



六角川

自然と共存し 地域とともに築く 安心で自然豊かな六角川

1 流域の概要

その源を佐賀県武雄市山内町神六山に発し、武雄市朝日町において武雄川を合わせ、白石平野を蛇行しながら、河口部の住ノ江において牛津川を合わせて有明海に注いでいます。

流域は佐賀県の西部に位置し、流域市町は3市3町にまたがり、佐賀県西部地方の社会・経済・文化の基盤をなし、地域にとって重要な役割を果たしています。

水源地	佐賀県武雄市山内町神六山
標高	447m
流域面積	341km ²
幹川流路延長	47km
国管理区間	56.9km
流域市町村	武雄市・多久市・小城市・大町町・江北町・白石町
流域内人口	139千人(H22国勢調査資料)

2 河川特性

六角川は、白石平野を緩やかに蛇行しながら流下し、河口から約29kmにも及ぶ長い感潮区間を有しています。下流部は、干拓でつくられた土地で、有明海の約6mにも及ぶ干満差のため満潮時には海面よりも低く、低平地では水はけが悪く、地下水の汲み上げ等により地盤沈下が発生しているため、非常に水害が起こりやすい特徴を持っています。また、地盤は水分を多く含んだ極めて軟弱なもので、改修を進める上での大きな障害にもなっています。

3 現状の課題

六角川の下流部では、非常に軟弱な有明粘土層と有明海の潮汐作用及び潮流作用により「ガタ土」と呼ばれる浮遊粘土が、河道内に堆積するため、掘削しても元に戻ってしまいます。このため、河道及び施設の維持管理に困難を極めています。

本川流域は、感潮区間が長く低平地であるため、外水氾濫(川からの氾濫)と内水氾濫(川への排水不能)が複合的に起こる水害常襲地帯です。このため、河川整備と併せて、危機管理対策が重要な地域となっています。

外水氾濫と内水氾濫が複合的に起こる水害常襲地帯



平成2年7月出水後の六角川

河道内にガタ土が堆積

河道内のガタ土は、掘削しても元に戻ってしまうため、河道及び施設の維持管理が困難となっています。



六角川のガタ土堆積状況

松浦川

歴史と文化の継承 安らぎと緑ゆたかな松浦川

1 流域の概要

その源を佐賀県武雄市山内町青螺山に発し、鳥海川等の支川を合わせながら北流し、唐津市相知町で巖木川を合わせ、下流平野部に出て徳須恵川を合わせ、その後は唐津市中心市街部を貫流し、玄界灘に注いでいます。

流域は、佐賀県北西部に位置し、唐津市をはじめ、伊万里市、武雄市の3市にまたがり、佐賀県北西部の社会・経済・文化の基盤をなし、治水・利水・環境上極めて重要な河川です。

水源地	佐賀県武雄市山内町青螺山
標高	599m
流域面積	446km ²
幹川流路延長	47km
国管理区間	63.3km
流域市町村	唐津市・伊万里市・武雄市
流域内人口	93千人(H22国勢調査資料)

2 河川特性

流域は木の葉状を呈しており、河川は松浦川の外、徳須恵川、巖木川の2大支川があります。松浦川及び徳須恵川は標高が約400~500mの山地を源流としており、河床勾配は約1/500から1/10,000と比較的緩勾配です。一方、巖木川は、作礼山(標高887m)、八幡岳(標高764m)と比較的高い山地を抱えており、河床勾配は約1/50~1/500と急勾配となっています。

3 現状の課題

松浦川中上流部、徳須恵川上流部、巖木川中流部は、依然として未整備区間が多く、洪水の度に氾濫被害が頻発しています。また、河川改修による河道の直線化により、川の多様性が消失している所もみられます。一方、河道内の著しい樹木繁茂は、洪水時の支障となることもあるため、樹木調査や河川巡視のほか、環境面等からも総合的に経過観察のうえ、必要に応じた対策を講じなければなりません。これらを踏まえ、安全でうるおいのある河川整備が急務となっています。

中上流部にて、洪水氾濫が頻発

未整備区間の残る中上流部では、ひとたび大きな洪水が発生すると、狭い山間部と河道が一体になって激流が流れるため甚大な被害となってしまいます。



川の多様性の消失

河道の直線化や護岸の整備により、川の多様性が消失しています。



樹木の繁茂

河道内に繁茂する樹木群が、洪水の支障となることもあります。



Contents

河川の維持管理

地域の人々が安心・安全で生活できるよう、嘉瀬川・六角川・松浦川の堤防、排水機場、堰、水門、樋門、ダムなど河川管理施設の維持管理を行っています。

堤防や排水機場、堰、水門、樋門などの河川管理施設が、洪水時に十分な機能が発揮されるよう河川巡視や施設点検を実施し、不具合や損傷が発見された場合は、補修や更新等を行っています。今後も老朽化する構造物(土木、建築、機械・電気設備)を適切に維持管理していくため、各施設の健全度を評価し、施設の延命化、予算の最小化・平準化(アセットマネジメント)などを行っています。

堤防の点検

堤防のひび割れや陥没等の変状を早期に発見し、堤防の決壊など重大な被害を予防するため、除草し堤防点検を行なっています。



施設の保全

洪水により大量の流木等が河川に流れ込み、施設操作に支障をきたす恐れがあるため、流木やゴミを処理しています。



ガタ土対策

六角川は有明海特有のガタ土が堆積し、施設の操作に支障をきたすため、ガタ土除去などの維持管理を行っています。



施設の操作

武雄河川事務所では多数の河川管理施設を管理しています。特に排水機場や六角川河口堰、松浦大堰の操作については、洪水の状況を判断しながらの操作となり、高度な河川管理が必要です。



施設の老朽化対策

河川管理施設は、昭和50年代以前に設置されたものが多く、今後老朽化の進行による施設の補修時期が集中することが考えられます。このため、計画的な河川管理施設の補修や更新を行っています。



主要な河川管理施設の整備状況(国管理区間)

	ダム	堰	水門	樋門 樋管	陸閘	排水 ポンプ場	合計
嘉瀬川	1	2	-	11	6	2	22
六角川	-	2	15	139	1	16	173
松浦川	1	1	2	103	-	4	111
合計	2	5	17	253	7	22	306

嘉瀬川ダム

嘉瀬川ダムは、水害の軽減、水道・かんがい・工業用水の確保や発電など、みなさんの暮らしを支える多目的ダムです。

1 概要

嘉瀬川の下流に広がる佐賀平野では、集中豪雨や台風などの大雨により何度も洪水被害が発生しています。

また、佐賀平野では主産業の農業、そして県都佐賀市都市圏の水道などに大量の水を必要としているため、安定的な水源を確保する必要があります。こうした課題を克服する対策の1つとして嘉瀬川ダムが造られました。



2 目的

- ①洪水調節
- ②流水の正常な機能の維持
- ③かんがい用水
- ④水道用水
- ⑤工業用水
- ⑥発電

嘉瀬川ダム	
型式	重力式コンクリートダム
堤高	99.0m
堤頂長	456.0m
堤体積	1,000,000m ³
越流部標高	EL300.0m
非越流部標高	EL304.0m
貯水池	
集水面積	128.4km ²
湛水面積	2.7km ²



巖木ダム

巖木ダムは、水害の軽減、水道・工業用水の確保や発電など、みなさんの暮らしを支える多目的ダムです。

1 概要

松浦川は、流域の年間降水量が全国平均よりも多く、しかも雨の降る時期が夏に集中する傾向にあるため、大雨になれば川が増水して水害発生への心配がありました。そこで水害の軽減を主な目的として建設されたのが巖木ダムです。

また、巖木ダムでは水力発電に利用するための貯水容量を確保しており、発電する時には、巖木ダムより高い位置にある天山ダム(所管:九州電力)に貯めている水をエネルギーに変え、水の力を利用して電気を作ります。2つのダムで水のやりとりをする、全国でもめずらしい「揚水式発電」を行っています。



2 目的

- ①洪水調節
- ②流水の正常な機能の維持
- ③水道用水
- ④工業用水
- ⑤発電

巖木ダム	
型式	重力式コンクリートダム
堤高	117.0m
堤頂長	390.4m
堤体積	1,088,000m ³
越流部標高	EL218.0m
非越流部標高	EL222.0m
貯水池	
集水面積	33.7km ²
湛水面積	0.42km ²



ダム見学を随時受付中。お気軽にご連絡下さい!!

嘉瀬川ダム：0952-51-8321

巖木ダム：0955-63-2500

佐賀導水路

佐賀導水路は、洪水調節、内水排除、維持流量・水道用水確保など、私たちの暮らしを守るための施設です。

1 概要

佐賀導水路は、筑後川、城原川及び嘉瀬川を導水路（管路、開水路）で連絡する流況調整河川※（総延長：約23km）で、洪水調節、内水排除、流水の正常な機能の維持と増進（河川維持流量等）、水道用水への供給の確保等河川の流況状況の改善を図ることを目的としています。

※流況調整河川とは・・・それぞれの河川のうち、流況（河川流量）に余裕のある河川から、不足している河川に水を導水して、それぞれの河川の流況を改善します。

2 目的

- ①洪水調節
- ②内水排除
- ③流水の正常な機能の維持
- ④水道用水（佐賀西部地域）

佐賀導水路	
導水路延長	約23km
巨勢川調整池容量	2,200,000m ³
佐賀西部広域水道企業団の概要	
計画給水人口	188,000人
計画給水区域	4市3町1企業団
計画取水量	最大56,100m ³ /日
水源	嘉瀬川、城原川、筑後川 (佐賀導水)



城原川ダム事業

城原川ダムは城原川上流付近に計画中のダムです。

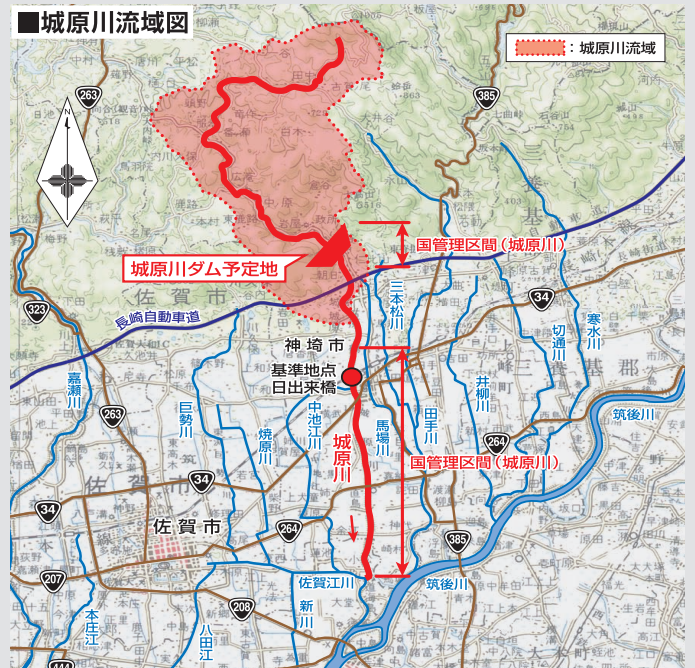
1 概要

城原川はその源を佐賀県神埼市脊振山に発し、佐賀平野を南流して佐賀市蓮池町において佐賀江川と合流し筑後川へ注ぐ支流で、その流域面積（日出来橋上流域）は49.3km²、幹川流路延長31.9kmの河川です。

城原川ダムは城原川上流部付近に計画中のダムです。

2 目的

- 洪水調節
城原川の日出来橋において、河川整備基本方針に対応した流量690m³/sのうち360m³/sの流量低減を図ります。



国土院発行の20万分の1地勢図(福岡、熊本)を使用。

関係機関の連携による減災対策「佐賀平野大規模浸水危機管理計画」

広大な低平地で洪水は氾濫や高潮被害を受けやすい佐賀平野において、大規模浸水時の被害最小化を目的として、防災に関する「情報収集・伝達」「広域応援・緊急輸送路ネットワーク」「連携強化」等を佐賀県下の学識者、国、県、市町、民間の各機関から構成される検討会にて議論し、連携して取り組む危機管理計画です。洪水及び高潮は氾濫の被害像とその危機管理対策として3分野24項目の施策から構成されます。

■国、県、市町、民間機関の連携



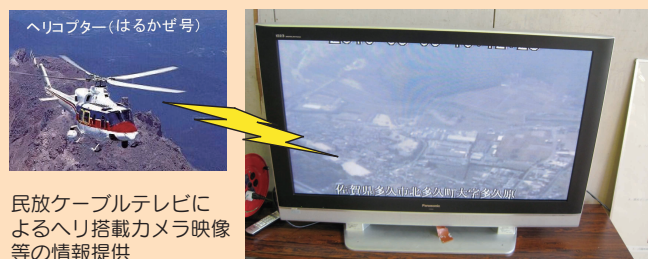
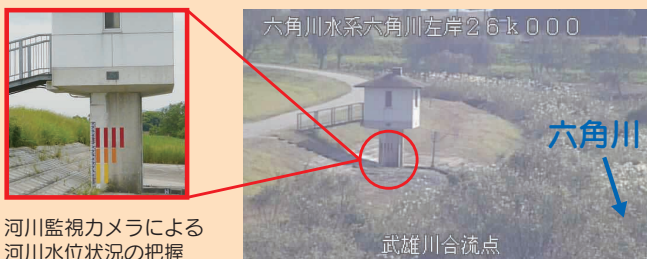
■過去の水害状況



■大規模浸水時における防災・減災の取り組み

①いち早い被害状況の把握

河川・道路管理用の監視カメラ画像、防災ヘリからの被害映像などをテレビやラジオで情報提供することにより、迅速かつ的確に被害状況（河川背後地の浸水状況や道路冠水状況など）を把握できるようにします。



②すみやかな避難誘導

洪水や高潮により浸水のおそれがある時、住民が早く的確に情報を入手し、速やかに避難できるような支援のしくみをつくりまします。

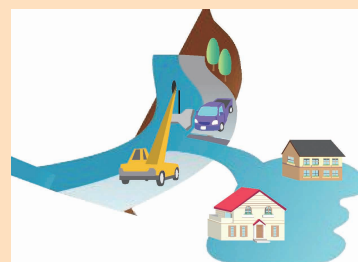
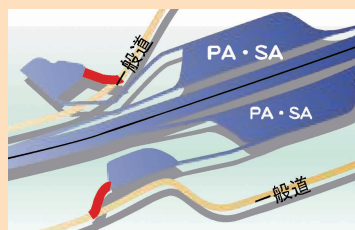


住民が自ら手作りした防災マップを活用して、市町から発令された避難に関する情報により避難所へ避難する状況（多久市訓練）



③迅速な応急復旧対策

災害時に資機材の輸送や復旧作業を迅速に行うため、地域高規格道路と河川堤防の接続を行うなど、速やかに災害現場に行けるような緊急輸送路ネットワークづくりを行います。



■地域防災力の向上

各種訓練(*)を行うことにより、市町の防災計画の検証に対する支援を行います。

*佐賀県総合防災訓練
各市町の防災・避難訓練 等

川の防災情報

役立つ情報：川の水位・雨量・雨雲の動き・洪水の予報・水防活動・ダム の 放 流

いつもの！ テレビから

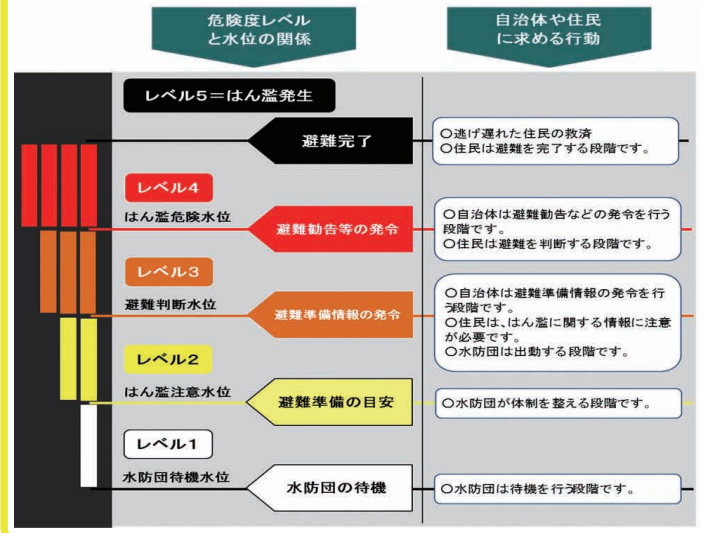
河川水位・雨量

釣川 1.16m はんらん注意水位

釣川	犬鳴川	多々良川	御笠川	樋井川	那珂川	室見川	雷山川
1.16m	0.79m	0.3m	1.31m	0.04m	0.77m	欠測	1.16m
上約橋	宮田橋	雨水橋	山王橋	隅田橋	田島橋	下日佐	橋本橋
							濁橋

アクセス方法
 (地上デジタル放送)NHK ▶ TVリモコン ▶ ボタン ▶ 河川水位・雨量

洪水時の川の見方と危険度レベル



いつでもどこでも！ 携帯電話から

● お手軽に携帯サイトへ
 自分の気になる場所についての川の防災情報を確認できます。

アクセス方法

- 《URL取得入手方法は2通り》
- ・2次元バーコードから読み取り
- ・直接入力
 (<http://i.river.go.jp/>)

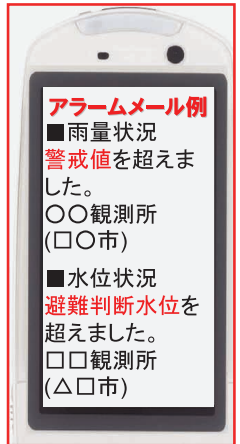
※別途、携帯電話の通信料がかかります。



● メールでお知らせ
 雨や水位が気になる値になると自動的にメールを受信できます。

登録手順

1. 空メールを送信する
 《アドレス入手方法は2通り》
- ・2次元バーコードから読み取り
- ・直接入力(kasenalarm-entry@qsr.mlit.go.jp)
2. 登録案内メールから、通知の設定を行う



もっと詳しく！ パソコンから

川の防災情報

国土交通省 川の防災情報
 (全国すべての情報が分かります)

九州の防災・災害情報

九州地方整備局 九州防災ポータルサイト
 (防災機関の情報を集約)

九州防災ポータルサイト

630055

九州の防災に関する各種情報へのリンク集

このサイトのリンク集のためリンク先が設定変更された場合は掲載されなくなることがあります。

天気予報	気象情報	河川に関する情報	道路に関する情報	本日のアクセスランキング
気象衛星	台風情報	川の防災情報	九州の防災情報	1位: レーダーがまた(録水電電)
降水量	風向風速	福岡県	福岡市	2位: 気象衛星
日照時間	積雪深	福岡県	福岡市	3位: 新たな町のバーチャルマップ
雨量レーダー	降雪レーダー	福岡県	福岡市	4位: カラダ健康
xxトドMPLレーダー雨量情報	レーダーナウキャスト(降水、雷、竜巻)	福岡県	福岡市	5位: 雨量レーダー
解析雨量・降水時間予報	その他の気象情報	福岡県	福岡市	
海上警報	海水温	福岡県	福岡市	
潮位警報	潮位観測	福岡県	福岡市	
波浪観測	有明海	福岡県	福岡市	
風速・潮位	内閣府	福岡県	福岡市	
地震津波に関する情報	九州地方整備局	福岡県	福岡市	
地震情報	九州地方整備局	福岡県	福岡市	
九州の地震情報	福岡県	福岡県	福岡市	
山岳災害に関する情報	福岡県	福岡県	福岡市	
移島噴火情報	福岡県	福岡県	福岡市	
九州火山情報	福岡県	福岡県	福岡市	
阿蘇火山西火口規制情報	福岡県	福岡県	福岡市	

※ 武雄河川事務所ホームページからもアクセス可能です。(<http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/>)

① 国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所

〒843-0023 佐賀県武雄市武雄町大字昭和745
 TEL(0954)23-5151~5155 / FAX(0954)23-5191
 メールアドレス:takeo@qsr.mlit.go.jp

(総務課) (調査課)
 (経理課) (管理第一課)
 (用地第一課) (防災情報課)
 (工務課)

[Japanese] <http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/>
 [English] <http://www.qsr.mlit.go.jp/takeo/html/eng.html>



② 国土交通省 九州地方整備局 武雄河川事務所 (佐賀庁舎)

〒849-0918 佐賀県佐賀市兵庫南二丁目一番34号
 TEL(0952)41-8801 / FAX(0952)41-8802

(用地第二課) (管理第二課)
 (開発調査課) (施設管理課)



事務所のあゆみ

昭和31年 4月	佐賀工事事務所六角川調査出張所を武雄市に設置し、六角川の直轄調査に着手する。
昭和33年 4月	六角川の直轄改修工事に着手する。
昭和34年 4月	六角川工事事務所仮事務所を武雄に設置する。
昭和36年 5月	武雄工事事務所と名称変更し、松浦川の直轄改修工事および海岸保全整備事業に着手する。
昭和41年 4月	六角川水系に係わる河川が一級河川に指定される。
昭和42年 5月	松浦川水系に係わる河川が一級河川に指定される。
昭和46年 4月	嘉瀬川水系に係わる河川が一級河川に指定され、直轄改修工事に着手する。
昭和49年 3月	松浦大堰が完成する。
昭和55年 11月	六角川で昭和55年8月の洪水を契機に直轄河川激甚災害対策特別緊急事業が採択される。
昭和58年 3月	六角川河口堰が完成する。
昭和62年 3月	巖木ダムが完成する。
平成 2年 8月	六角川で平成2年7月の大洪水を契機に2度目の直轄河川激甚災害対策特別緊急事業が採択される。
平成 3年 3月	嘉瀬川大堰が完成する。
平成13年 1月	省庁再編にともない国土交通省九州地方整備局武雄工事事務所と名称変更となる。
平成14年 6月	牟田辺遊水地(牛津川)が完成する。
平成15年 3月	駒鳴捷水路(松浦川)が完成する。
平成15年 4月	国土交通省九州地方整備局武雄河川事務所へ名称変更する。(旧:武雄工事事務所)
平成17年12月	石井樋地区歴史的水辺整備事業(嘉瀬川)が完成する。
平成20年 3月	鹿島海岸出張所閉所
平成21年 3月	有明海岸の事業を完了させ、佐賀県へ移管する。
平成21年 4月	嘉瀬川の管理を筑後川河川事務所へ移管する。
平成22年 4月	巖木ダム管理所から巖木ダムの管理を武雄河川事務所に移管する。巖木ダム管理支所を開所。
平成28年 4月	筑後川河川事務所から嘉瀬川、佐賀導水路、嘉瀬川ダムの管理、城原川ダム事業を武雄河川事務所に移管する。

③ 牛津出張所

〒849-0305 佐賀県小城市牛津町上砥川47-9
 TEL(0952)66-0315/FAX(0952)66-0326

④ 松浦川出張所

〒847-0031 佐賀県唐津市原1754
 TEL(0955)77-1735/FAX(0955)77-3544

⑤ 朝日出張所

〒843-0001 佐賀県武雄市朝日町大字甘久1521-6
 TEL(0954)22-3014/FAX(0954)22-3226

⑥ 嘉瀬川出張所

〒849-0203 佐賀県佐賀市久保田町大字新田86
 TEL(0952)68-2362/FAX(0952)68-2317

⑦ 巖木ダム管理支所

〒849-3111 佐賀県唐津市巖木町広瀬446-4
 TEL(0955)63-2500/FAX(0955)63-2512

⑧ 嘉瀬川ダム管理支所

〒840-0522 佐賀県佐賀市富士町大字畑瀬1-1
 TEL(0952)51-8321/FAX(0952)51-8323